



車いす登山に挑戦 娘の笑顔は私の笑顔

# 横山 薫さん



**PROFILE** よこやま・かおる (56・大山区)

障がい児放課後児童クラブ(なみっこハウス)で指導員として勤務。娘の恵美さん(写真:右)は、身体と知的に障がいを持つ重複障がい者。7年前から親子で車いす登山に挑戦し、昨年、富士山の登頂に成功。

## 車いす登山への挑戦

「恵美にも健常者と同じ思いをさせてあげたい」という薫さんの思いから車いす登山への挑戦が始まった。

娘の恵美さんは生まれつき身体と知的に重度の障がいがあり歩くことができない。2人の挑戦にはボランティアの人たちの協力が欠かせない。

## 2人の登山スタイル

傾斜があり、道も整備されていない登山道では車いすを押し進めることはできない。そのため、薫さんやボランティアの人が交代で恵美さんを背負って登山するしか方法がない。車いすを背負って進むのが2人の登山スタイル。恵美さんに合った登山専用の車いすを作ることが、横山さん親子の登山前の大切な準備の一つでもある。恵美さんの体重に車いすを加えると重さは50kgを超える。ベテランの登山家でも車いすを背負って歩くことは困難という。登山前に、薫さんは、その重さに

慣れるため、恵美さんを背負って、近所の坂道を歩いたりして、体調を万全に整えるという。

## 目標を持つ大切さ

「無謀な挑戦だと言われたこともありました。しかし、山頂にたどり着いたときの達成感や登るといふ目標に向かうことで、私も恵美も頑張ることができるようです。頑張る恵美の姿を見て、目標を持つことの大切さや、支えてくれる人への感謝の気持ちが一層深まり、何より、元氣やパワーをもらうことができました。私たちが挑戦することで、少しでも多くの人に元氣を与えることができればうれし」と話す薫さん。

これからも、横山さん親子の挑戦は続く。横山さんが、自身の経験や登山への思いを語る「第2回子育てハッピー講演会」が開催されます。

日時 3月23日(土) 10時〜

場所 浜岡中央児童館

照会 浜岡中央児童館

☎0537-88066